

第4回宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会 会議結果（概要）

- 1 開催日時 平成24年8月20日（月）15：00～16：30
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 3-3会議室
- 3 出席者 (1) 宝塚市 中川市長 ※山田消防長
(2) 川西市 大塩市長 ※小西消防長
(3) 猪名川町 福田町長 ※北山消防長

※はオブザーバー

- 4 開会
- 5 会長あいさつ 【中川会長】
- 6 議長選出 宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会規約第9条第2項の規定により、中川会長が議長に選出される。

7 議題

- (1) 平成23年度宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会事業・決算報告書（案）
について

提案趣旨 平成23年度宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会における事業内容及び決算報告について説明・報告するもの。

結果 異議等なしで議了。

- (2) 平成24年度宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会歳入歳出補正予算（案）
について

提案趣旨 平成23年度予算の歳入歳出差引残金を、平成24年度に繰り越すため平成24年度消防広域化協議会補正予算(第1号)(案)の承認を求めるもの。

結果 異議等なしで議了。

- (3) 消防広域化までのスケジュールについて

ア 現在までの消防広域化協議経過

イ 国の動き

提案趣旨 第2回協議会で決定した平成24年度末を目途に広域化を実現することが間に合わないことについて、承認を求めるもの。

結果 平成24年度末の広域化は延期。早急に困難な課題を協議し、将来ビジョンを完成させ、幹事会・協議会に付議することで議了。

主な意見等

・現状はどういう状況なのか、何が問題なのか。

→将来ビジョンを作成し、幹事会に付議したが、この将来ビジョンについては、一定の評価はできるものの、別冊で示されている課題について解決（合意形成）

がされていないということで、現段階では未完成という結果に至っている。

- ・一定のスケジュールが立つ見込みはあるのか。
- これまでの分科会、部会等で協議してきた中で、消防と行政、2市1町の主張が異なるところがあり、課題解決に難航してきた経緯があるため、平成24年度内に課題解決ができるというような、明確な約束はできないのが現実。
- ・現時点では詳細なスケジュールが立たないということで理解する。
- ・広域できない方向に向かっているのではないか。
- あくまでも広域化をできないという理由ではない。将来ビジョンが現段階では未完成の状態なので、部会・分科会で議論を重ね、早く合意形成すべきところや、定員管理、施設整備等の必要な中長期的な計画を立て、幹事会・協議会へと付議していきたい。ただし、どうしても解決できない課題については、「解決ができない部分として残りました。」ということで付議したい。
- ・これだけの課題を解決しながら議論する一方、あまり拙速なかたちで進めることができないという認識は一致しているので、平成24年度内の広域化は無理と判断する。
- ・スケジュールの見直しについて、それがどこまで延びていくのかしつかり判断する必要がある。
- 早急に課題解決の協議を開始し、できるだけ早く解決し、将来ビジョンを完成させ幹事会・協議会に付議できるよう努めたい。

(4) 新たな消防出動体制の検討について

提案趣旨 2市1町は、消防指令業務を高機能消防指令システムで共同運用しており、この指令システムを活用することにより、火災や救急事案が市・町境界付近で発生した場合に限って、現場に一番近い消防車・救急車を出動させることが可能ではないかと考え、平成25年4月実施を目途に新たな消防出動体制の検討開始を求めるもの。

結果 平成25年4月1日開始を目途に、消防部会で検討することで議了。

主な意見等

- ・メリットは分かったが、デメリットとしては何があるのか。
- デメリットとして、出動指令プログラムを変更することで、若干の費用負担が必要になると思われる。また、広域でも単独消防でも考えられることだが、例えば、宝塚市東消防署から川西市に救急車が出動した際に宝塚市東消防署管内で救急事案が発生した場合は、逆に時間を要することになるという可能性がある。
- ・現行の応援協定とは違うのか。
- 2市1町の強みとしては、消防指令業務を高機能消防指令システムで共同運用

している。それを活用して、火災や救急事案が市・町境界付近で発生した場合に限って、現場に一番近い消防車・救急車を出動させることが可能ではないかと考えており、2市1町の境界線のところで助け合いができるような応援協定なり何かをすることによって実現化できないかというところを協議させていただきたい。

- ・広域化がかなり遅れるという事情もあり、住民の命を救うところに直結する、この出動体制の部分から協議を始め、来年ぐらいを目途に、全国初の試みをスタートさせることで理解する。

(5) その他

結果 席上提案等無いため議了。

8 閉会

以上